

言語学

(1) 派生あるいは屈折において、語が受ける形態上の変化にはどのようなものがあり得るか、できるだけ多くの場合について紹介しなさい。

(2) 以下の4組の日本語と英語の例文のうち、(a)はいずれも受益構文(benefactive construction)の例である。これらの例文の考察を通して、この例文が成り立つ条件について論じなさい。

(注) 4については、(a)が不自然であるのに対して、”I cleared Bill a place to sleep on the floor”が十分容認可能であることを参考にするとよい。

1. (a) 太郎が花子に本を買ってあげた。
(b) 太郎が花子のために本を買った。
2. (a) ?太郎が花子にゴミを捨ててあげた。
(b) 太郎が花子のためにゴミを捨てた。
3. (a) I baked her a cake.
(b) I baked a cake for her.
4. (a) ? I cleared Bill the floor.
(b) I cleared the floor for Bill.

(3) 音声を発するために必要な気流の起こし手を3種類挙げ、それぞれの音声の具体例を1つずつIPAを用いて示しなさい。

(4) 次の(a), (b), (c)のそれぞれについて、括弧内の用語をすべて用いて言語学的に説明しなさい。

- (a) regularity (Grimm, Verner, consonant shift)
- (b) change in progress (Labov, social factors, hypercorrection)
- (c) contact (substratum, linguistic area, mixed language)

(5) 言語学で使われる以下の用語を簡潔に説明しなさい。

- (a) code-switching
- (b) polysemy
- (c) productivity
- (d) transitivity